

---

# 普通な物語

秋月七星

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

普通な物語

### 【コード】

N0657G

### 【作者名】

秋月七星

### 【あらすじ】

普通な人たちを舞台とした、普通のお話です。普通の人を読んでください。

## 1・私・片瀬沙柚！！（前書き）

これはほとんどノンフィクションであり、名前、地名などは変えてありますが、現実に起こった事が記されております。  
それと主人公は作者です。作者のお話なんで・・・

## 1 私 片瀬沙柚！

これは、とある場所に住む中学生のお話

「だあああああ寝坊しちゃったじゃない!!」

「あんたが早く起きないからいけないんじゃないの?」

「起こしてよ!」

「起こしたけど起きなかったじゃない、朝ご飯どうするの?」

「いらないうつ、んじゃいつてきます!」

いつもより少し・・・大分遅い時間に起きた私は、急いで自転車に乗って友達の元へ向かった。

「ごめん、真由ちゃん」

「おつそ。私を遅刻させる気?も、早く行くよ」

「真由ちゃんだって遅いときあるじゃん」

「何か言った?」

「いえいえ、なにも」

小学校からの友達、オオツキマユ大槻真由ちゃんといっしょに学校へと向かう。  
私の名前は片瀬沙柚。カタセサユ

中学生で2年生。普通の家に住んで、普通の家族で普通の人。つまり、君たちとなにも変わらないただの人。恋愛小説みたいに突然の恋なんてないし、顔もかわいくなんかない。そんな普通の人のお話だよ？

さてと、そんな事を考えてる内に学校に着いちゃった。

私が通ってるのはこの雨杉北中学校。アマスギキタチュウガッコウみんな雨北って呼んでる。

全校で400人ぐらいかな？2年生は1番多くて190人ぐらいいるんだよ！

「ちよつと、早くいこーよ。なにしてるの？」

「ああ、ごめん真由ちゃん。紹介しておこうかなと思って・・・」

「？なに言ってるの？行くところ？」

「ハイハイ」

真由ちゃんは小学校からの友達ってさっき話したけど、あの頃からもうこんな感じだった。

真由ちゃんは頭が良くて、真面目で、少し意地悪だ。

それでもって少しミーハーなところもあって、今はあるアイドルグループの1人が大好きだ。

私もけっこう好きなアイドルだよ、でも怒るとちよつと怖い。無口になるから怖いんだよね・・・

真由ちゃんと靴箱までいっしょにいつてそこから分かれた。つといても教室隣だけだ。

2年は5組あって、うちの学校はABCDEで分かれてる。

私は2・C。真由ちゃんは2・D。どっちも下の階にあるから楽だな。

教室に行くとは私は1番後ろの席。左から3列目。まあまあ良い席だ  
けど・・・  
ウゥンって感じかな？

今日は朝の所で終わりにするねっ！！  
次は「友達たくさん！？」だよ！  
お楽しみに！

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n0657g/>

---

普通な物語

2010年10月28日01時32分発行